

18) 手術部

1. 組織及び構成員

部 長 奴田原 紀久雄（泌尿器科教授）
副部長 萬 知子（麻酔科教授） 多久嶋 亮彦（形成外科教授）
副師長 相馬 真弓 白木 敬子

手術部長、副部長、看護副師長、手術部を利用する各診療科医師よりなる手術部運営委員会の決定に基づき運営されている。

平成27年4月現在、79名の看護師が所属しており、年々増加する難易度の高い術式、高度医療機器を使用した術式に対応できるよう人員配置が行われている。

2. 特徴

中央手術部、外来手術室、ハイブリッド手術室合わせて21の手術室を有し、内視鏡専用室5室、クラス1000のクリーンルーム2室が稼働している。外科系診療科の手術、検査および、内科系診療科のバイオプシー、ラジオ波焼却、生検、骨髄採取などを行う施設として付属病院の中心的機能を果たしている。

平成27年度には、中央手術室、外来手術室、ハイブリッド手術合わせて11,807件の手術が施行された。

3. 活動内容・実績

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	中央	外来										
消化器・一般外科	1,063	0	996	0	918	2	912	1	886	0	918	0
乳腺・呼吸器・甲状腺外科	466	42	537	45	579	29	579	22	633	32		32
心臓血管外科	447	0	428	0	458	0	447	0	446	0	652	36
形成外科	1,063	486	1,214	548	1,297	542	1,266	558	1,205	640	440	0
小児外科	280	0	252	0	245	0	266	0	261	0	1,201	650
脳神経外科	445	0	407	0	400	0	335	0	347	0	290	0
脳卒中科	34	0	36	0	39	0	73	0	74	0	342	0
整形外科	894	0	1,010	0	968	2	1,020	0	1,121	0	37	0
泌尿器科	781	0	787	0	900	0	954	0	903	0	1,036	0
眼科	293	2,778	331	2,965	308	3,048	320	2,630	380	2,566	919	0
耳鼻咽喉科	451	4	486	5	490	10	459	4	441	2	347	2,811
産科	422	0	438	0	399	0	404	0	373	0	424	0
婦人科	553	0	598	0	604	0	649	0	617	0	399	0
皮膚科	54	9	67	1	66	0	72	1	79	1	582	0
救急医学	114	0	138	0	141	0	133	0	105	0	89	0
顎口腔科	31	0	19	0	37	1	37	0	29	0	176	0
神経内科	1	7	1	0	0	4	2	0	3	3	31	0
呼吸器・血液内科	2	0	4	0	4	0	5	0	4	0	4	3
消化器内科	177	0	179	0	157	0	144	0	149	0	6	0
小児科	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	176	0
精神科	60	0	31	0	18	0	81	0	47	0	0	0
麻酔科	0	0	1	0	4	0	0	0	7	0	67	0
循環器内科	0	0	6	0	4	0	4	0	32	0	8	0
腎臓内科	2	0	22	0	8	0	0	0	0	0	163	0
リウマチ膠原病内科	0	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0
小計	7,633	3,326	7,990	3,565	8,045	3,640	8,162	3,216	8,142	3,244	8,307	3,500
合計	10,549		10,792		10,959		11,555		11,685		11,807	

4. 自己点検と評価

平成25年の日本医療機能評価機構受審を機に、周術期麻酔管理外来を受診する患者数の拡大に取り組んできた。その成果が表れ、麻酔科管理による手術を受けるほぼ全ての患者が受診するようになり問題が顕在化する前に予防策を講じ、安全性の高い麻酔・手術の実施をめざす体制が整った。患者・家族も、麻酔及び、手術を受けるにあたっての注意事項等の説明を入院前に、専門知識のある麻酔医、手術室看護師から受けることができるようになった。

手術部としては、周術期麻酔管理外来を担当する看護師の人員確保及び育成を行い、麻酔科と協力し、看護師が担当すべき術前のオリエンテーションの質向上を目指している。

手術に於いては、平成27年2月にハイブリッド手術室が新設され、以前は中央手術室で行っていた、心臓血管外科のステントグラフト挿入術、血管内手術、形成外科の血管腫摘出術を行うようになった。更に、放射線部で行っていた循環器内科のアブレーション、デバイス挿入、脳神経外科の血管内手術も実施しており手術件数の増加となった。ハイブリッド手術室にかかる期待に応えるべく、手術部では、看護師のトレーニングを積極的に行っていかなければならないと考えている。また、手術部では空き枠を活用し、効率のよい手術スケジュールが計画できるように調整を図っていく予定である。